

新入生応援号



Reading is Happy!



📌 新入生のみなさま、ご入学おめでとございます!

今回のまめりブは、Reading is happy ということで、いろんな読書の楽しみ方をご紹介します。ただもくもくと読むだけじゃなくて、書き込んだり、お風呂で読んだり、本をネタにガールズトークしたり、本の楽しみ方はいくらでも広がっていきます。(でも図書館の本はほかの人も使うのできれいに使ってね)

5号のメニュー

- 表: 1. 正木先生の本との付き合い方インタビュー
2. まめりブ編集長の編集後記

裏: いくつかの「読む」のカタチ ~カタチから入る読書入門~

📌 図書館からのお知らせ

3月の震災および電力不足の影響で、図書館の開館スケジュールやサービス内容を変更せざるえない状況です。

これからも電力の状況によってサービス内容や開館時間が大きく変わる可能性がありますので、ご利用の際には図書館のウェブサイトでご確認いただくか、メールまたはお電話でお問い合わせいただければ幸いです。

ご不便をおかけいたしますが、ご協力よろしくお願ひ致します。

問い合わせ先

TEL:042-329-7223 Mail: library@u-gakugei.ac.jp

📌 まめりブ編集長の編集後記

吉本隆明氏が「朝日新聞」で自分が本と親しんできた来歴を話していた。

「そうやって貸本屋を転々として様々な本を読む中で、よい本の感じとか好きな本の感じなどをつかみ、「本の世界」とはこういうものだという感覚を学んだように思います」。吉本氏だって、様々な本を読み、じょじょに「本の世界」を知っていった。新入生の健闘を祈ります。



絵本で感性をみがこう!

デザイン専攻の正木賢一先生にどのように本と付き合っているか聞いてみました!

正木先生に
インタビュー!

どこで本を買いますか?

本選びは、真剣勝負!

本がいっぱいあるのがいいので大型書店が多いですね。本屋で出会って、ネットで買います。学生時代は家庭教師のアルバイトをしていて、給料をもらってその足で本屋に行って欲しかった本を買っていました。書き込んだり切り取ったりするので図書館では借りません。でも、本に対するイメージの原体験は図書館ですね。本に囲まれていると落ち着きます。

本を選ぶポイントは?

やはり、顔と手触りです!

まず本屋をざっと一周します。そして目に止まったものを手に取ります。カバーもはずしてどんな外見なのかをよくみます。だからどっちかっていうと内容は後。ジャケ買いタイプです。本との付き合いは人間と同じです。一期一会だと思っているので、惜しみなく買って、出会ったからにはきちんとしてみたくそうと。

本の読み方は?

本はノートですね~

とにかく書き込みます。気になるところは切り取ってスクラップにしたりします。そのスクラップは大学時代からやっています。だから図書館で本は借りられない。

どこで読みます?

油断すると、本がしわしわに...

自宅1階の土間は壁一面が本棚になってるんですが、その前で画集を眺めたり雑誌を立ち読みしたりするのがお気に入りです。また、お風呂に本を持ち込んで読むことも多いです。

小さい頃読んでいた本は?

壁新聞作ってました!

小さい頃は本がなかなか買えなくて、図書館で読んだり、本屋で立ち読みをしていました。理科オタクで、国語が一番苦手でした。学校の先生からすすめられて仲間と壁新聞を作っていました。友人とほぼ毎日作って、朝クラスの机の上においていくのが楽しくてしょうがなかったです。

学生時代はどんな本を?

SF小説にかぶれました

学生時代は、SF小説にかぶれました。アーサー・C・クラークからフィリップ・K・ディックまで、大体読みましたね。手に入らないものも多かったので、古本屋はよく行きました。

20代は何かにかぶれる。はまったら必ず出てきて、また別の何かにかぶれる。いろんなものに揺れ動いてしなやかな感性を身に付けて欲しいですね。

学生にすすめる1冊は?

加古里子ぶん・え

『宇宙：そのひろがりをしろう』

加古里子ぶん・え『宇宙：そのひろがりをしろう』(福音館書店、1978)
【図書館書庫大型 440.7/KAK】がお勧めです。この絵本との出会いがなかったら、今はなかったです。学問って、何だろうと問いかけがなければ面白くないと思うんです。その問いの入り口として絵本があったらいいなと思います。絵本は子どもの読み物だと思われがちだけれど、大人でも十分楽しめます。もっと絵本の存在を見直して欲しいですね。



本棚

ヒヨコ舎著

人の本棚を覗くのは楽しい。発見がある。本棚は、その人の頭の中でもあるから。考えていること、気になっていること、お気に入り…。

その人の過去や現在、そして未来も、そこには詰まっている。

本棚は「人」というフィルターで掬い取られたセレクトショップ。

本屋さんや図書館に加えて、人の本棚で本選び。

思いもかけない一冊に巡り会えるはず。



ぼくの宝物絵本 穂村弘著

まず、酒井駒子の表紙がグッときます。これだけで手に取っちゃう。

「ぼく」が大切な絵本を持って、こっそり自分だけの秘密の場所へ行くところ、みたいな感じで。

ホント、絵本って人にパワーを与えるよなあ、としみじみ感じます。

図書館エントランスに
展示中(4月)

「読む。」を感じる

という、はなし 吉田篤弘著

読書って、もしかしたら、何を讀むかよりも、どこでどう讀むかってことの方が大事なんじゃないかしら? と思ってしまう。

フジモトマサルの絵を見ているだけで、自分がそこで本を讀んでいたら…と想像が膨らみます。

「読書の時間」って、贅沢だよなあ。

「読む」のカタチ
いくつもの

「読む。」をひろげる

世界文学は面白い。 文芸漫談で地球一周

奥泉光・いとうせいこう著

世界文学にツッコミを! 奥泉光といとうせいこうがポケケ突っ込んで、文学を題材に二人漫談。笑いながら作品を理解することができます。おススメ!

「読む。」ワザ

番外編 新入生のための三冊

三色ボールペンで読む日本語

齋藤孝著

三色ボールペンをつかって本につこみをいれてみると、読み終わるころには、その本はあなただけのノートになる。そのノートには、あなたの「今」がざっしり詰まっている。レポート、卒論の執筆にも応用できる名著。



これから新生活を始める新入生のみなさまのために大学生活に役立つ三冊を選んでみました。料理、そうじ、そして学び…。ぜひ手にとってご覧ください。

1. お料理のために・・・

『がんばれ自炊くん! ビギナー編』

2. おそうじのために・・・

『おそうじのきほん一片づけベタでも絶対に行ける (SAKURA・MOOK 60)』

3. 学びのために・・・

『知のツールボックス: 新入生援助 (フレッシマンおたすけ) 集』

裏面に
インタビュー掲載

新書がベスト 小飼弾著

とりえず、新書を10冊読め! 話はそれからだ。

薄いし、軽いし、わかりやすい。新書は本を讀むのに最適なカタチです。この本は新書というものを徹底的に「使う」方法を教えてくれます。これから大学で学び始める新入生はもちろん、就職活動を控えた三年生にもおすすめです!

正木先生の著書

『カーニマル』(新風舎, 2005.)【図書館1階
絵本コーナー 726.6/MAS】